

「瓦版」



2020. July. 1

在仙台カンボジア王国名誉領事館

NO.3

水とともに生きる ～その 20 年の軌跡を追います！

みなさんは、プノンペンの水を直接飲んだことがありますか？

アセアン諸国では水が直接飲めるのはシンガポールだけと言われてきましたが、実はカンボジアの首都プノンペンの水は直接飲める水質基準に達しているんです。

国連が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」では、「安全な水とトイレを世界中に」が定められている。この取り組みの先駆者として、「プノンペンの奇跡」と呼ばれる「安全な水」の実現は、様々な苦労を経て達成された。それは、日本をはじめとする国際援助によるインフラ整備、そして北九州市上下水道局の 20 年にわたる協力の賜物だ。

長い内戦の時代を経て、ライフラインである水道も被害を受けた。浄水場からの給水は 1 日に 10 時間程度で市内 40% にしか及ばず、水が届かない地域もある。この状況を改善しようと、インフラ復興支援が動き出した。そこに名乗りを上げたのが日本の地方自治体である北九州市だ。1999 年から市の職員をプノンペン水道公社 (PPWSA) に派遣していた。

最初に北九州市が提案したのが、「排水ブロック」と「排水監視システム」の技術移転だ。2003 年 10 月から JICA 技術協力プロジェクトが北九州市上下水道局主導の下で開始された。OJT や日本での技術研修を重ね、カンボジアの水道マンたちの技術を向上させていく。「人づくり」を始めたのだ。特に注目すべきが、PPWSA の経営安定化という成果だ。貧困地域に無償で給水管を設置するなど、カンボジアの貧困削減対策に大きく貢献した。

次に、8 つの都市で 2007 年 5 月より施設の改修と人材育成を平行しながら展開。北九州市上下水道局職員のみならず、前のプロジェクトで成長した PPWSA 職員が、地方の水道局に技術指導を行うという活動も伴った。

各都市の水道は地域ごとに浄水処理の方式、施設設計、維持管理の方法が異なってくる。それぞれの都市と向き合いながら状況を把握し、結果、プロジェクト対象の 8 つの州で 24 時間の配水と、無収水の削減、カンボジア国家水質基準を満たす水を給水することができるようになった。

今度は自立発展的な経営ができるよう、経営人材を育成するプロジェクトが展開。8 都市の水道局やその監督機関に対して、OJT や北九州市での研修を行った。このプロジェクトの特徴は、基準となる指標を用いて定期的なモニタリングを行ったことだ。2015 年決算では、8 都市すべての水道局が黒字決算を達成した。経営改善を通して利益を残し、再投資することによってさらにサービスを向上させるという、まさに持続可能な水道経営の第一歩を踏み出した。

「Water for all = みんなのための水」というスローガンの実現と、カンボジア国家戦略開発計画で定める「2025 年までに都市部での安全な水へのアクセス率 100% 達成」のために、プロジェクトが終わった 2018 年以降もその取り組みは続いている。



改修後のポンプレック浄水場



北九州市での研修の様子



北九州市での研修を終えて

クメールの魂を踊りに込めて

古今東西、神話の時代から神事のために行われてきた「舞踊」。「アプサラダンス」は、カンボジアの古典舞踊の代表的な演目。インドの神話「乳海攪拌」の中で誕生したと言われる天女「アプサラ」を、舞踊の中で表現したものだ。アンコール遺跡の壁画には、アプサラの彫刻が至るところに描かれている。

アプサラたちの踊りはアンコール時代に大成し、代々受け継がれてきたという。だが、シャム（タイ）の侵攻に伴いアンコール王朝が滅亡すると途絶えてしまい、19世紀のフランス統治下で「宮廷舞踊」が復興されたと言われている。王宮では壁画と同じような美しい女性たちが舞う、さまざまな演目が生み出された。

1970年代初頭の政変で誕生したロン・ノル政権期には、「宮廷舞踊」という名が変えられ、「クメール古典舞踊」と呼ばれるようになった。情勢と時代に伴って、元々王族の監視下に置かれていた宮廷舞踊が、庶民も身近に接することができるようになり、カンボジア庶民のための舞踊となっていった。



人生をささげ、そして命を救った「舞踊」

古典舞踊に人生をささげた女性、現在 88 歳のエム・ティエイさん。コソマ女王からの薦めもあり、宮廷舞踊団に所属した。宮廷で舞踊を習得し、各国の要人を迎える際や国家の行事の時などに舞踊を披露していました。

しかし、内戦が始まるとバタンバン州へ強制移動させられた。「ポル・ポト時代になり、舞踊家と知られると特に重い強制労働をさせられていました。しかしある日、きつい労働を忘れさせるためにみんなを楽しませるようにと命じられ、各地で舞踊を披露するようになりました。これが、私が生き残れた理由だった。舞踊が私の命を救ってくれたんです」。ポル・ポト政権が終わり、舞踊家の仲間たちと再会を喜び合った彼女たちは、舞踊の演目を復興する活動を始めた。

こうしてティエイさんは、内戦が終わった 1990 年代からは舞踊家として、また舞踊の指導者としての人生を送り、数多くの舞踊家を世に排出することになる。

古典舞踊の生き字引
エム・ティエイさん

戦火を潜り抜けて

ノロドム・ボッパーテヴィ王女はカンボジアの古典舞踊を広く国内、世界に広めたことで大きな偉業を成し遂げた方です。

5 歳からコソマ女王に指導を受け、18 歳のときに王宮舞踊団のアプサラを演じるプリマとなったボッパーテヴィ王女。プリマとしての活動のかたわら、国内の教育施設で指導者として活躍していたが、1970 年にロン・ノルによるクーデターが勃発するとフランスへの亡命を余儀なくされる。1991 年によりやく帰国すると、王女は文化芸術副大臣に就任する。王女は自身の経験と知識の伝承のためにも、使命をもって、ティエイさんのように難を逃れた元舞踊家たちを集め、古典舞踊復興のための地道な活動を繰り返し広げました。その結果、「宮廷舞踊」は 2003 年にユネスコの「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」として認定されました。

昨年 11 月 18 日、故ノロドム・シアヌーク前国王の長女であるノロドム・ボッパーテヴィ王女は逝去されました。

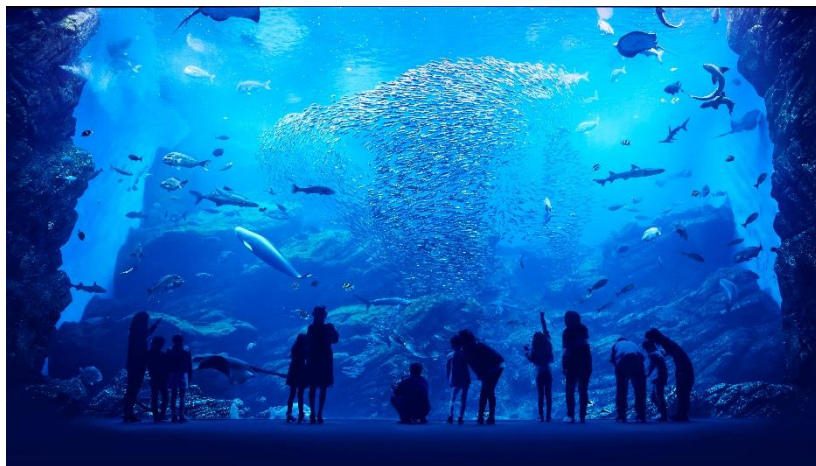


仙台あれこれ・・・

仙台うみの杜水族館 SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

— 海より 深い 不思議 —

水中を漂う姿に、励まされたり
癒されたりする人がある。
生態の不思議を知って、
目を輝かせたり生き方を重ねる人がある。
この水族館でいちばん
イキイキしている動物は、
人間かもしれない。
潜ってみてください。
この海は解けない謎だらけです。



仙台水族館開発株からのメッセージ

おかげさまで仙台うみの杜水族館は7月1日で開館5周年を迎えました。東日本大震災からの復興を象徴する水族館として、三井物産、カメイ、横浜八景島、ユアテック、河北新報社、仙台三越が出資する仙台水族館開発によって仙台市の高砂中央公園内に建設された民間の水族館です。

様々ないのちを“うみだす”海をとおして、杜の都/仙台から人々の新しいつながりを“うみだす”水族館という願いを込めて、「仙台うみの杜水族館」と名付けられました。

豊かな三陸の海を再現した大水槽などのいのちきらめく日本のうみ、震災復興支援で東北と繋がった世界のうみ、東北最大級のスタジアムでのイルカ・アシカ・バードによるパフォーマンスやペンギン・海獣とのふれあいエンターテインメントの3つを大きな柱としています。

地域のみなさまに愛され支えられ、みなさまの『思い出の場』として幾世代にも引継がれていく水族館を目指しています。
夏休み期間中はナイト営業も行っておりますので是非お運びください。詳細はホームページ

(<http://www.uminomori.jp>) でご確認ください。



イルカは好奇心旺盛だ。飼育員がプールサイドを掃除していると、上がってきて「体に水をかけて～」とアピールしたりする。意外と歯が鋭く、正面から見るとノコギリの歯のようで、ホースをかじってダメにしてしまうこともある。体は茄子のように張りがあり、キュッキュとしている。

オタリアの体は固い毛で覆われていて、その声の低さに驚く。クラゲは日常を忘れて浮遊感に癒される。クマノミとのかくれんぼは楽しい。海のギャングと言われるウツボは迫力があるが、泳ぐ姿は優雅だ。チンアナゴやネオンテトラ、マイワシの群れ。どんな大きさの水槽でも、その中にはいきものの魅力があふれている。

これらを支えているのは、水族館のスタッフ達だ。とある水族館で飼育ボランティアをしたことがあるが、充実感と朝から晩まで命に触れる責任を感じた。ぜひスタッフにも注目してもらいたい。

編集者